

村田



ミドル級



ボクシング 48年ぶり



男子ミドル級決勝 ブラジルのファルカンを破って金メダルを獲得し、喜ぶ村田諒太＝エクセル

【ロンドン共同】ロンドン五輪第16日の11日、ボクシング男子ミドル級決勝で村田諒太(26)＝東洋大職Ⅱがエスキバ・ファルカン(ブラジル)を破り、1964年東京五輪バンタム級の桜井孝雄(故人)以来48年ぶり2人目の日本人金メダリストとなった。日本選手団の金メダルは6個目。

ボクシングの日本勢は、68年メキシコ五輪バンタム級で「銅」に輝いた森岡栄治(故人)を最後にメダルから遠ざかっていた。今大会、男子バンタム級の清水聡(26)＝自衛隊Ⅱも銅メダルを手にしており、史上初めて1大会複数階級でメダルを獲得した。

昨年の世界選手権準優勝の村田は第2シードで2回戦から登場した。準々決勝、準決勝とともに逆転勝ちするなど、勝負強さを発揮して頂点まで駆け上がった。